

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：R8年 2月 19日

事業所名 博愛こども発達支援センターたくみのお城Ⅱ(重心)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	7		室内、ホール共に十分に確保できている	活動や移動、休憩の際には安全面に配慮してスペースの確保に努めます 小集団での生活空間を提供しており、利用者の配置も人数や特性に応じて配置していきます
	2	職員の配置数は適切である	7		施設基準に沿って、利用人数に合わせた職員の配置を行っている	施設基準に沿って、専門職や適切な職員配置をしています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		車椅子の利用者が利用できるスペースを確保している	生活の場として車椅子や歩行スペースの確保に努め環境整備を行っていきます
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善につなげている	法人の支援方針に沿った目標を立て、遊び込み療法に基づいた支援を共有していきます。今後も議事録で確認する等職員間での情報共有を行っていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アセスメントシートやアンケートから保護者からの意向を把握し、支援や業務改善へつなげている	保護者からの意見には真摯に耳を傾け、業務改善につなげていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		年1回定期的に実施し、職員へ周知した上でホームページで公開している	職員へ周知した上で支援の質の向上に努めていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7		外部評価については今後検討していきます
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		県・市から案内により、研修については可能な限り参加している ビデオ研修では質疑応答の時間がとれないこともある	感染症の影響でオンライン研修で参加している 法人内の研修についても資質向上に向けて、感染防止に留意しビデオ研修の活用もしていきます 質疑応答についても対応していきます
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者の意向やアセスメントシートを用いて個別支援計画を作成している	今後も定期的にあセスメントを行い、個別支援計画作成につなげていより良いサービス提供を心がけます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		半年に1度評価を行い、見直しや改善している	今後も定期的にあセスメントを行い、本人の特性や状態把握に努めていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
的な 支 援 の 提 供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		毎月職員間で話し合い、活動プログラムの立案と実施を行っている	今後も週や月ごとに計画を立て、季節に合わせた制作活動や興味関心を取り入れた専門教室の活用を継続して取り組んでいきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		利用者の発達や特性に合わせて1日、週、月のプログラムを作成、新しい活動や季節の行事なども取り入れている	利用者の興味や関心を取り入れた活動を提供、作業療法士や保育士と検討会を実施しており、活動内容の見直しや遊び込み療法の質の向上を目指します 本人や保護者のニーズを取り入れ、活動の中で身体や手足を使う内容を取り入れています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		サービス提供時間に合わせたプログラムを作成して支援を行っています 休日については行っていません	学業日と休業日の時間や場所の構造化を図り、職員間で共有し特性や興味・関心に合わせて、活動に取り入れていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		小集団でのプログラムを作成している 安全面に配慮しながら活動を行っている	特性や興味・関心に合わせ、1日、週、月、年間と1年を通して小集団でのプログラムを作成し、構造化を図ります ウオーカーを使用する際には、安全面に配慮して個別に対応します
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		プログラム作成時に担当を決めている 毎日ミーティング時に役割分担や支援内容の確認を行っている	参加できなかった職員には議事録で確認し、日々の支援内容の情報を共有していきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終業ミーティングでその都度、課題や改善すべき点を話し合っている	伝達事項や気づいた点についてはその都度共有を図っています 参加できなかった職員には議事録や活動記録を確認し、日々の支援内容の情報を共有していきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日々の活動や相談記録を個人ファイルで管理し、情報共有できる体制をとっている	サービス提供後には記録時間や情報を共有できる時間を確保していきます
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的に6か月に1回は実施している	今後も継続して取り組みます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、作業療法士の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施にあたっての準備を行っている	今後も継続して取り組みます
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		担当者会議の日程に合わせて児童発達支援管理責任者とクラス担任が参加するようにしている	可能な限り、クラス担任も同席し情報の共有ができるようにしていきます
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		週間、月間ごとに各学校に連絡をして下校時間の確認を行っている	今後も連絡調整がスムーズにできるよう関係機関と連携をとっていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機 関や保 護者 との 連 携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7		事前に情報提供書や保護者を通じて情報を共有するなどしている	保護者を通じて情報を共有するなど、相談支援事業所等も連携を図りながら連絡体制を整えていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		児童発達支援事業所と情報交換を行い、スムーズに移行できるように情報伝達を行っている	今後も計画的に継続して取り組みます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		移行の際は、各関係機関と情報交換を行い、スムーズに移行できるように情報伝達を行っている	今後も計画的に継続して取り組みます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		感染症対策もありできていない 積極的にオンライン研修などの参加を行いたい	研修内容について資料など回覧して職員へ情報共有していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	交流会等の機会はない	感染防止を行いながら法人内の児童発達支援など年齢の近い子供と交流する機会を増やしていきます
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		7	事業所内の職員が協議会には参加していない	法人内の職員が代表で参加しているため会議内容等情報の伝達を行っていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		日々の送り迎えの際や連絡帳、写真を通して利用者の状況を伝えている	状況を伝えることはできているが、今後は学校や訓練の様子など課題について保護者と共有していきます
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		7	保護者に対してペアレント・トレーニングを行う機会はない	ペアレント・トレーニングは実施していないが、児童発達支援協議会の参加や勉強会等で知識や対応力の向上に努めます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		運営規定、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や利用方法、パンフレットを用いて具体的な説明を丁寧に行っている	利用開始時や内容の変更があれば不明な点があればその都度、説明をして丁寧な対応をしていきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		保護者からの子育ての悩み相談については日頃から真摯に対応している	担当者一人では適切な助言ができない場合は、事業所として適切な回答を模索した上で助言していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	様々な感染症の影響もあり行事で保護者同士で話しができる機会はない	保護者同士が集まり、話しができる機会が作れるよう検討していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		迅速かつ適切を旨として苦情の対応にあたっている	今後も相談・苦情内容に応じて迅速かつ適切な対応に努めます 相談支援事業所等との情報共有も行っていきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		会報はないが毎月の予定や行事、活動風景の写真を玄関入口に掲示している	今後も定期的に掲示を行います 写真等個人情報の取り扱いには十分留意して掲載、配布を行います
	35	個人情報に十分注意している	7		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示に関しても同意を得ている	今後も写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとりま す 個人情報が記載されている文書の廃棄についてはシュレッターを使うなど、個人情報の漏洩や取り扱いには注意して いきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		障がいや特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしている	障がいや特性によって配慮を行うが利用者や保護者対応に不公平が生じないよう一貫した支援を行います
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7		法人内の花火大会や秋祭りなどで地域住民の方が多く参加されていた	今後も法人内の行事には感染症防止対策を実施していきながら積極的に参加していきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	職員間では周知できているが、全てのマニュアルを家族に周知することはできていない	緊急時や感染症対策等については利用契約時や連絡帳にて、対応マニュアルの提示や訓練結果の報告を通知して いきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		毎月地震や火災を想定した避難訓練を実施している	今後も定期的に実施し防災、防犯対策に努めます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止に関する研修会には必ず参加（感染防止対策によりビデオ研修）している	今後もオンラインを活用しながら研修会への参加を行って いきます。 「不適切な処遇行為」及び「勤務中の態度」に係る チェック表を用いて定期的に行い、改善を図ります
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		車椅子使用時の体幹ベルトの固定の際は、事前に保護者への説明、同意を得ており利用計画にも記載している	身体拘束の必要性がある場合は、虐待防止上必要とされる 身体拘束の3原則を全職員で確認します 個別支援計画に記載し、説明と同意を得る際に再度保護 者へ伝えていきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		指示書や保護者の申告に基づいて対応している	医師からの指示や保護者からの申告があればその都度確 認をとり対応していきます
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		毎日のミーティングで共有している	ヒヤリハットは事業所内または法人内でも情報を共有し、 事故を未然に防げるよう努力していきます	